

ジブチ月例報告 (2024年2月)

在ジブチ日本国大使館

【内政】

●2月12日、ディレイタ国民議会議長は、地方に関する課題についての意見交換を目的とした地方視察の一環として、ディキル州を訪問。同議長は、国民との直接対話できるチャンネルを維持し、現地視察から着想を得た解決策を見出す決意である旨述べた。また、17日にはアリスビエ州、18日にはアルタ州を視察。

【外政】

●ゲレ大統領は、ルト・ケニア大統領に対して、ナイロビで発生したガス爆発事故及び事故による多数の死傷者の発生に対する哀悼の意を表する弔電を発出。

●2月13日、ゲレ大統領は、アフリカ開発のための新パートナーシップ(NEPAD)首脳会議にオンラインで参加。同会議では、この1年間に実施した活動に関する報告を実施。

●2月14～16日、エンバロ・ギニアビサウ大統領はゲレ大統領の招待によりジブチを訪問。同訪問において、ゲレ大統領とのバイ会談が行われ、両国間の協力の可能性に関する意見交換。また、両国代表団の拡大実務者会合やエンバロ大統領による国民議会でのスピーチ等を実施。

●2月16日、ユスフ外務・国際協力大臣は、アディスアベバでアントニオ・アンゴラ外務大臣と会談を行い、政治的関係の強化と経済的パートナーシップ拡大に関する意見交換を実施。

●2月17日、ゲレ大統領は、アディスアベバで開催された第37回AU総会に出席。また、同総会のマージンでアビィ・エチオピア首相、ハッサン・ソマリア大統領らとの首脳会談を実施。

●2月18日、ユスフ外務・国際協力大臣は、新たに設置されたスーダン情勢に関するAU委員会メンバーと意見交換を実施。両者は、スーダン国民に人道援助を届けるための安全な回廊を確立することの重要性を強調し、全利害関係者が参加する包括的な対話の実施について協議。

●2月26日、ゲレ大統領は新たに大使として任命された、George Macgoye ケニア共和国大使、Maes Ennio コートジボワール共和国大使、Hassane Maïdawa Amadou ニジェール共和国大使、Guillermo Antonio Lopez Mac-Lellan スペイン王国大使、Kosina Kankanamalage Kumarasiri スリランカ民主社会主義共和国大使及び Rodrigo Eduardo Guzman チリ共和国大使の信任捧呈式を挙行。6名の新大使は一致してそれぞれの国とジブチ共和国との交流と協力のレベル強化に向けて取り組む決意と意欲を表明。

なお、今回任命された6名の大使は全員それぞれの国の駐ジブチ特命全権大使の地位にあるが、ケニア共和国大使のみがジブチ駐在大使となる。

●2月28日、ゲレ大統領は2月19日からケニアのギギリで行われている第6回国連環境総会（UNEA）に参加するため、ユスフ外務・国際協力大臣、ヨニス・エネルギー大臣、ヘレム環境・持続的開発大臣らとともにケニアのナイロビに到着。

【経済・開発】

●2月5日、ゲレ大統領は、第5回ジブチ・トルコ合同経済委員会に出席するためジブチを訪問していたAbdulkadir Oraloglu トルコ運輸・インフラ大臣の表敬を受け、投資やインフラ建設、社会経済開発といった協力プロジェクトについて意見交換。

●2月5日、ジブチ・トルコ合同経済委員会の一環として、ユスフ外務・国際協力大臣とAbdulkadir Oraloglu トルコ運輸・インフラ大臣との共催により、両国間の経済貿易関係の強化を目的とし二国間協力に関する会合を開催。

●2月11日、ゲレ大統領は、ジブチで開催されたスマート・アフリカ・デジタル・アカデミー開講式に出席のため当地を来訪していたアフリカのデジタル化推進に取り組む地域機関スマート・アフリカ（Smart Africa：本部ルワンダ）のLacina Koné 事務局長の表敬を受け、アフリカ諸国における統合的なデジタル革命について意見交換。

●2月11日、経済・財政省とフランス開発庁は、ジブチ市バルバラ地区の都市開発プロジェクトの第3フェーズに係る総額1100万ユーロの無償資金協力に合意。同プロジェクトは、道路整備、水・電力アクセス向上を目的に実施。

●2月13日、ハディ港湾・フリーゾーン庁長官は、Jaro Syrjala フィンランド外務省国際貿易担当次官補をヘッドとするフィンランド代表団の訪問を受け、ドラレ・コンテナ・ターミナルやドラレ多目的港、新フリーゾーンといったジブチの港湾インフラ等について紹介。

●2月22日、Inchacap Djibouti Automotive SARL は、中国・重慶に拠点を置く Changan Automobile のショールーム・オープンイベントを開催。イベントには、イスマン予算大臣、ムスタファ国民教育・職業訓練大臣、アフメッド保健大臣、ユスフ・ジブチ商工会議所会頭らが出席。

●2月25日、ヨニス・エネルギー大臣は、アリサビエにあるアッサモの太陽光発電所落成式に出席。エネルギー省の天然資源チームがアッサモに設置した太陽光発電所は、480枚以上の高品質太陽光発電パネルで構成され、国家予算で賄われ、発電能力は150キロワットで、この地域に住む600人以上に電力を供給する予定。

【保健・衛生・社会】

●2月6日、イリヤス経済・財政大臣は、Tanja Pacifico I OMジブチ常駐代表の表敬を受け、移民のジブチへの流入管理やジブチが直面課題について意見交換。

● 2月22日、統計研究所（INSTAD）において、エジプトより寄贈された1,400台のタブレット端末の引き渡し式典が開催され、イリヤス経済・財政大臣、Khaled Fadi Mahmoud Elshazli 駐ジブチ・エジプト大使、イブラヒム INSTAD 事務局長などが出席。

寄贈されたタブレット端末は、今後行われる国勢調査等に利用される予定で、より効率的かつ効果的なデータの収集、保存、処理が可能となる予定。

【軍事・治安】

● 2月18～22日、ブルハン国防大臣は、トルコを公式訪問し、トルコ国防大臣との間で両国の協力関係強化について協議。また、両大臣の間で、軍事財政に係る協力のための資金援助を含む防衛関係強化に関する二国間協定に合意。

● 2月23日のFRUD軍指揮官声明にて、22日から23日にかけての夜、FRUDの戦闘員とジブチ軍で衝突があり、FRUD戦闘員はディキル州 Daoudaouya 基地を数時間統制下に置き、武器等を奪い、軍の支援に来た車両も待ち伏せし、ジブチ軍には複数の死傷者、FRUDに死傷者なしと発表。

● 2月25日、ジブチ沿岸警備隊のドラレ・キャンプにおいて、2024年版国際海上演習「カトラス・エクスプレス」の開始式典を開催。式典はブルハン国防大臣の後援のもとに行われ、ザッカリア統合参謀総長、ハッサン・インフラ・設備大臣、スナイプス米国臨時代理大使、ワイス沿岸警備隊長、ジブチ駐留友好国軍の代表者等が参加。

【日本関係】

● 2月1日、原大使は、ラドワン通信大臣を着任表敬し、通信分野における二国間協力関係のさらなる発展について意見交換。

● 2月7日、原大使は、ウォックネー I G A D 事務局長に対して委任状を提出し、I G A D 常駐代表として活動を開始。

● 2月28日、大使公邸にて天皇誕生日祝賀レセプションを開催。自衛隊拠点による日本文化展示（らっぱ、剣道、日本拳法）が行われたほか、当地における J I C A、自衛隊拠点の活動を紹介するブースや日本企業による商品展示も実施された。

（了）